

学校の様子（論理国語 漢字の問題を作ろう・一人1台端末の活用）

2年生の論理国語の授業の様子を紹介します。紹介する授業では、語句の意味を理解しながら、漢字の問題（短文形式）を作るという内容で実施しました。

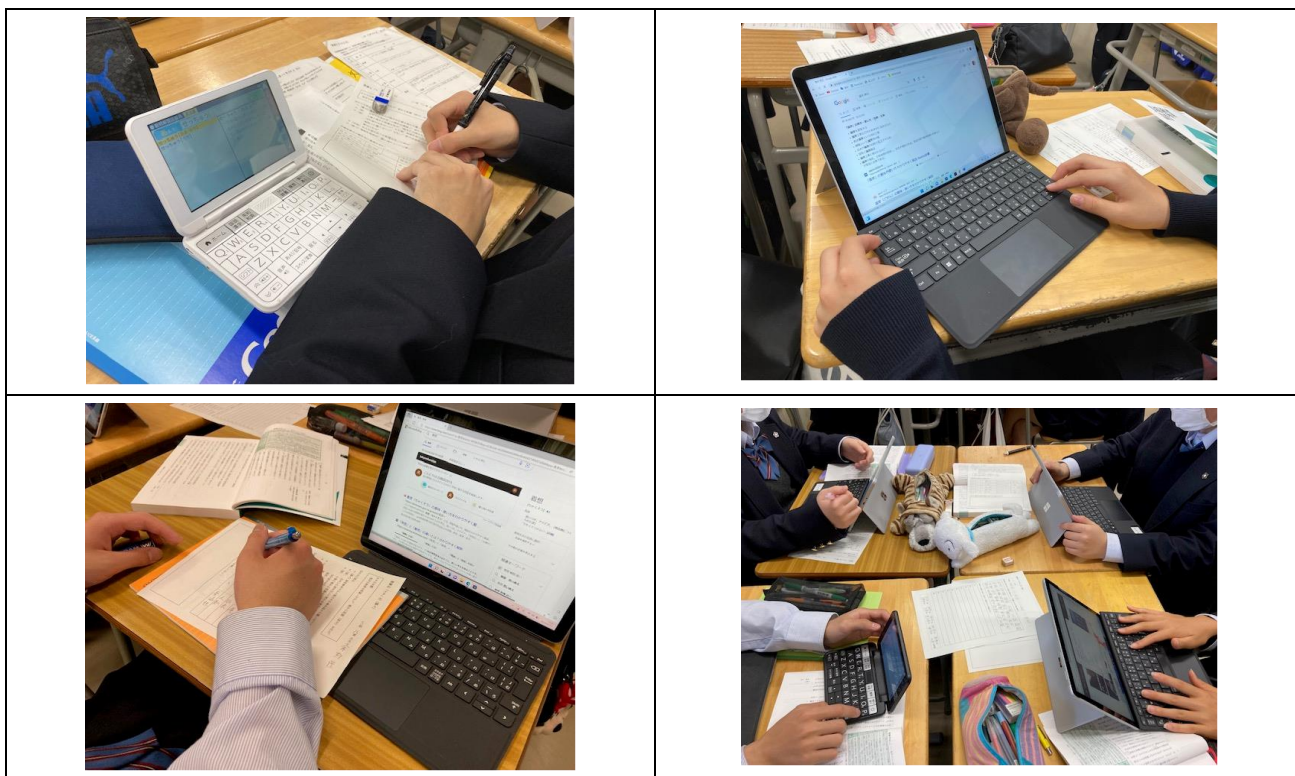
まず、現在取り組んでいる文章の中から、一人一人が漢字を10個選びます。

次に、班に分かれ、班として問題とする漢字を10個に絞ります。

その後、絞った10個について、短文形式の問題を作ります。

最後に、他の班で作られた漢字の問題を見て、様々な切り口からの問題が作られることを学びます。

生徒一人一人、文章を読みながら、漢字を選びます。これまでの授業で取り上げられた重要なキーワードも入ります。10個の漢字を問題にするには、その語句の意味を理解する必要があります。生徒たちは、一人1台端末や電子辞書などを活用し、意味を調べ、短文を作っていきます。（当然、例文のコピー&ペーストはNGです。）



ある班は、文章での使われ方と、端末で調べた内容を組み合わせ、短文を作っていました。

語句の意味を調べ、漢字の問題を作ることを通して、現在読んでいる文章の理解も深まりました。さらに語句の意味を覚えるだけでなく、短文の中で実際に使ってみるという経験もできました。

授業後の生徒の感想では、「他の班も同じような漢字を抜き出していたので、みんな苦手で難しい漢字は同じなんだと思った。」「同じ語句を使っているけど、他の班が全然違う短文を作っていたのでおもしろかった。」などがありました。工夫と気づきの授業になったと思います。

生徒が作成した短文形式の漢字の問題の例

○平和は、人類のフヘン的な願いである。

○みんなの意見をまとめて、スローガンの折衷案を出す。